

熊野三社の一つ『熊野本宮大社』



向かって左から一の殿と二の殿が一緒になった相殿（あいどの）、本社である三の殿、そして四の殿です。

ゆきぎのみち

日本古神道研究会

◇ 目次 ◇

皇紀二六六三年十一月九日横浜定例講演会より

・ 熊野権現の謎

熊野とは	二頁	本当の神様ご出現の儀	十頁
熊野への路	二頁	被い清めと心がけの	
熊野三社	三頁	大切さ	十二頁
権現の意味	五頁	月の世から太陽の世へ	十四頁
本地垂迹説	五頁	同じ御霊は同じ神様	十五頁
本当の神様は	八頁	天津神と国津神	十六頁
熊野三社と造化三神	九頁	出雲の神事・熊野から	
なぜ権現様が		火を貰うわけ	十六頁
現れたのか	九頁	本来の神様に	十六頁

・ 事務局便り …… 十七頁

・ これからの行事予定 …… 十九頁

・ これからの講演予定 …… 十九頁

・ 行事報告 …… 二十頁

## 熊野権現の謎

熊野とは

今日は熊野三社についてのお話をさせていただきます。話の流れで、神様の名前が

沢山出てきますけれども、全てを覚える必要はありません。大きな流れとして捉えて頂ければよろしいかと思えます。

先ず熊野って一体なんだろう。これも色々な考え方があって定まっていないのです。

熊野の「熊」という字を、そのまま「隈」、これは奥まった所とかスミということですから、そういう辺鄙なところであるというふうに捉える考え方もあれば、熊イコール神であるという、熊というのは神の事を言うのだと捉える考えもあります。

さらに、熊というのは籠るということから来たのだという考え方もあります。しかも、こもるといふ点は同じだけれども、こもるといふ中が別れていく。こもるといふのは要するに隠れるという事だ。何が隠れるか、隠れる中身は何かというところ、これが神様であり、神様が隠れておられるところであるとか、いわゆる靈魂が隠れるところであるとか、木がうつそうと繁って深山幽谷になつていて、そこで物事が隠れやすくなるということだというふうに、同じ隠れるといつても色々な別れて、定説というものがない。皆、それぞれ根拠を引いてくるのです。

また和歌山の事を「紀の国」という。この「紀」は何かというと、「木」で「木の国」だということです。そうすると木が鬱蒼と

繁つていて、物事が隠れ易くなる場所ということも可能なのです。

和歌山県和歌山市の外れに伊太祈曾神社という変わった名前の神社があります。この伊太祈曾神社の神様が木の種をまいた。だから木の国と言うのだというふうな、古事記、日本書紀のそういう話から持ってきて、木が鬱蒼と繁つているところだとする考えもあります。結局木と言つても、木だけでは意味がない。その木の所に神様がお隠れになるからそれでもともと、神様が隠れるのだという考え方もあるわけです。

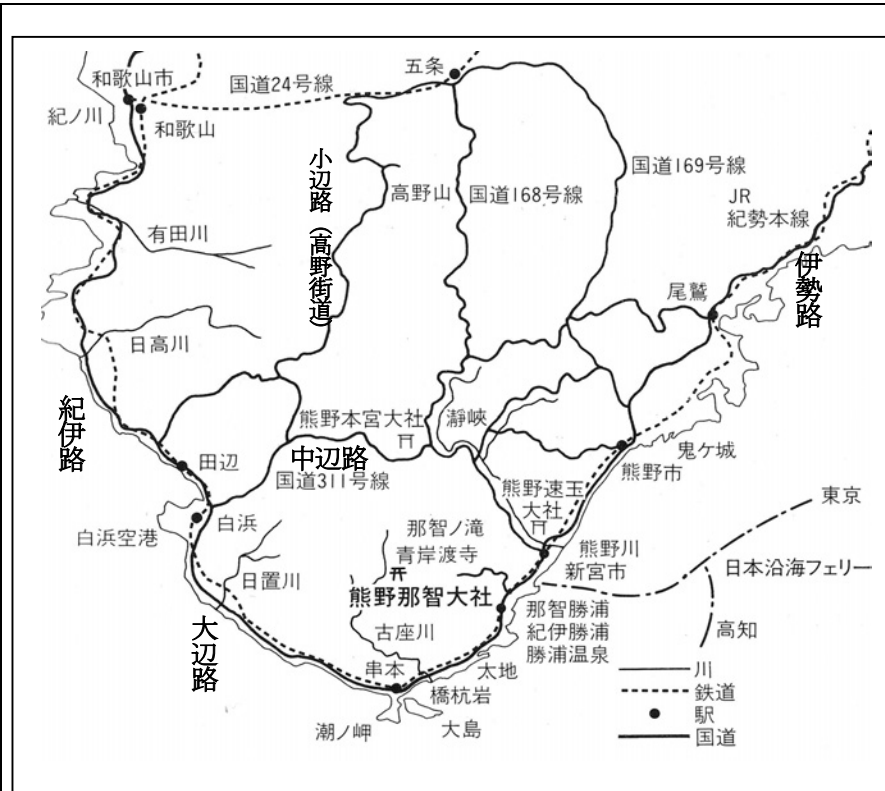
元々最初の出だしのところで『熊野』ということ自体の意味が色々な考えがあつて定説がない。そこへ持ってきて、修験道或は仏教等というふうなものとの絡みになってくると、更にややこしくなってくるのです。

こういった事で熊野の実体がかめない。要するにこれらの全体を捉えて熊野ということ自体が、辺鄙なところで、樹木が一杯あつて、神様がお籠になつているところというふうな考えれば一番無難かなと思います。木の国ということですから、樹木が一杯ある深山幽谷の地であるということには間違いがない。辺鄙な地であることも間違いがない。当時の都、京都からすれば、はるか彼方のところでは、山又山を越えて行かなければいけない場所です。

## 熊野への路

その熊野にかつて「蟻の熊野詣で」と言われ、上皇様をはじめ沢山の人が詣でまし

た。何日もかけて、都からはるか遠く山また山を越えて行ったの



です。その名残が熊野への路としてそれぞれ名前がついています。  
 (地図を見ながら読んで下さい)  
 紀伊半島は左図のようになっていて、熊野三社の位置を確認して下さい。伊勢の方から来る「伊勢路」、和歌山の方から来る「紀伊路」これは伊を省略して「紀路」というふうにも言っています。

田辺の辺りから横に入って本宮へ向かっている道が「中辺路」で、串本の方まで海岸線を大きく回っているのが「大辺路」です。そして高野山の方から本宮へ来る路を「小辺路」又は「高野街道」と言います。こういう大きな昔の道、伊勢路、紀伊路、それから中辺路。この辺りが一番大きかったと思います。高野山からくる小辺路は修験者の方とか、行者の方といった方が多かったように思います。

こういうふうな大きなルートがありました。その中でここが本宮、この熊野川を下ったところが速玉大社のある新宮、そしてもう少し横へいって、勝浦の所から少し入ったところが那智大社です。新宮の速玉大社、熊野本宮大社、熊野那智大社というこれが熊野三社になるわけです。

今、熊野に行くには、飛行機で白浜空港に入る方法と東京方面からは、那智勝浦行きフェリーが出ていますから、夜出航して翌朝勝浦の宇久井港(熊野那智大社の近く)に着く方法と、名古屋あるいは大阪方面から紀勢線で行く方法等があります。

いずれにしても熊野三社をまわるには、現地ですりしても車が必要になります。お時間があれば、途中九十九王子の地もあり、こうした巡りをされるのもよろしいかと思えます。四国八十八箇所巡りとは違った意味で、日本の歴史を訪ね、また大自然の中を歩むのも心洗う時になると思います。

### 熊野三社

これから本題に入ります。熊野三社というのは、熊野本宮大社、熊野那智大社、